

1年 道徳

| | | | |
|--------|----------------|-----|-----|
| 主題名 | みんなの物や場所を大切に使う | | |
| 中心内容項目 | C-12 規則の尊重 | | |
| | みんなのボール | | |
| 令和6年 | 1月 | 19日 | 2校時 |
| 児童 | 1年 | 2組 | 24名 |
| 授業者 | 斉藤 豪 | | |

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

本時で取り上げる内容項目は、「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること」である。これは第34学年の「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」、さらには第5・6学年の「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の人権を大切にし、義務を果たすこと」につながっていく。

1年生で初めて「規則の尊重」の内容項目を取り扱った教材「よりみち」では、きまりを守ることの大切さについて学習した。「みんなのボール」では、きまりではなく、みんなのために公共物や公共施設を大切に使うていこうとする心情を養いたい。

(2) 児童の実態（児童観）

1年2組の児童は、きまりは守るべきであることや、公共物・公共施設は大切に扱うべきだということを観念的に感じてはいるものの、全員がその意義を理解したり、自分だけではなく、みんなのために守っていこうと行動に移したりするところまではいけていない。

そのため、本時での学習では、みんなで使う物や場所の扱い方について、他人事として考えるのではなく、周囲の人たちのために大切に使うていこうとすることで、よりよい集団生活を送れることを感じ取ってほしい。自分事として考えさせ、みんなで使う物や場所を大切に使うていこうとする心情を育てたい。

【事前アンケート】 (24名 実施)

| 内容 | 結果 |
|------------------------------|---|
| 学校の中でみんなが使うものは、どんなものがありますか？ | ・机 ・いす ・ロッカー ・掃除用具 ・本 ・タブレット ・テレビ ・給食台 |
| 学校の中でみんなが使う場所は、どんなところがありますか？ | ・教室 ・体育館 ・ろうか ・グラウンド ・百ラウンド ・保健室 ・図書室 ・トイレ ・ふれあいルーム ・にこにこランド |
| みんな使う物や場所は、大切にしたいか？ | 【 はい 24名 いいえ 0名 】 ・独り占めしたら、他の人が使えないから。 ・嫌な気持ちにさせたくないから。 ・みんなが困るから。 ・いじわるになるから。 ・みんなが使えないから。 |
| みんなが使う物や場所を、大切にしていますか？ | 【 はい 23名 いいえ 1名 】 ・みんなが楽しく遊べるから。 ・嫌な気持ちにさせたくないから。 ・みんなが使えなくなるから。 ・こわれるから。 ・みんなが使えないから。 ・間違えてやっちゃうから |

(3) 教材への思い（教材観）

昼休みに、クラスのボールがなくなっていることに気付くも、みんなが知らないふりをするとところから始まる。誰が失ってしまったのかは明らかにならないが、自然とみんなが探しに行くという物語である。

本教材の学習を通して、みんなで使う物や場所の扱い方について、他人事として考えるのではなく、周囲の人たちのために大切に使うていこうとすることで、よりよい集団生活を送れることを感じ取ってほしい。そのために、教材の活用はもちろん、普段の児童の写真等も活用しながら、自分たちの生活に置き換えたり、振り返させたりしながら、自分事として考えさせ、みんなで使う物や場所を大切に使うていこうとする心情を育てたい。

2 総合単元ユニットとの関係

3学期になり、学校でのきまりや、守った方がよいことを観念的に理解し始めているものの、自分の気持ちを優先させてしまう児童も多い。きまりだから守るのではなく、どうして守る必要があるのかを、授業の時間だけではなく、休み時間などの日常生活や当番活動、係活動などを通して、考えさせていきたい。みんなが使う物や場所を大切に扱うていこうとすることで、よりよい集団生活を送れることに気づき、総合単元ユニットの主題である「なかよくたのしい1年生」を目指したい。

3 研究との関わり

（学びの主体意識をもち、道徳的な問題を自分事として捉え、自己の生き方を考えられるようにする指導の工夫）

子供の「？」を大切に、「課題」を設定する

- ・ ずれから抱く問題意識
- ・ 主題や教材の内容に興味や関心をもたせる

主体意識を抱く発問

- ・ 自分事として捉え、価値の理解に迫る。

共通解・納得解を導き出すための発問

- ・ 拡散した考えが収束する発問

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・ みんなで使う物や場所の扱い方について、登場人物の心情を想像したり、自分たちの生活を振り返ったりする活動を通して、次に使う人のことを考えて大切に使うていこうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

| | 活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問) | 教師の支援・評価・研修との関わり |
|----------|---|---|
| 価値への方向付け | <p>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</p> <p>○この写真を見て、みんなはどう思いますか？</p> <p>・ぐちゃぐちゃになっている。 ・しっかりとしまっていない。 ・嫌な気持ちになる。</p> <p>○（アンケート結果から）みんなで使うものや場所は大切に使ったほうがよいことは分かっているけれど、できないときがあるのはどうしてだろう？</p> <p>《本時の課題》 みんなでつかうものやばしょについて、かんがえよう。</p> | <p>◎アンケートや、普段の様子写真を活用し、本時の学習に関心をもたせる。</p> <p>●児童が安心して話せるよう、傾聴し、思いを受け止める。</p> <p>◎問題意識をもたせ、学びの主体意識を高める。</p> <p>◎教科書ではどのようなことが起きているか確認する。</p> |
| | <p>2 教材「みんなのボール」を通して、「課題」を追求する</p> <p>○しげるは、ボールがなくなったことをどんなふうに思っていたでしょう。</p> <p>・困ったな。 ・どうしよう。 ・誰が持ってこなかったのかな。</p> <p>○「しらないよ。」と言ったみんなは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>・自分には関係ない。 ・ぼくのせいじゃないし。 ・みんなも使っていたから、みんなも悪い。 ・ばれたらどうしよう。</p> <p>○その後、みんなが校庭に飛び出していったのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <p>・このままではダメだと思ったから。 ・自分は使っていないから、みんなのものだから。 ・次使えなくなるから。 ・困る人がいるから。</p> <p>◎みんなの物や場所を使うときに、考えたほうがよいことは何でしょう。</p> <p>・誰かに任せないで、後片付けをしっかりとする。 ・自分の物じゃなくても、みんなのものも大切に使う。 ・次に使う人のことを考えて、ボールを使う。</p> | <p>◎テーマ発問</p> <p>◎道徳的諸価値に関する問い「中心発問」</p> |
| | <p>《共通解》 つぎにつかう人のことをかんがえて 大せつにつかう。</p> | <p>◎この時間の学びを振り返りながら、共通解を整理する。</p> |
| 価値の追求・把握 | <p>3 価値について納得解をまとめる</p> <p>○今後どんなことに気を付けて生活していこうと思いましたか？ 感じたことを書きましよう。</p> <p>・みんなで使う教室や本などを、大切に使うていこうと思った。 ・みんなで使う物の片づけなどを、人任せにしないでやろうと思った。 ・ほかの人のことも考えて、ものを大切に使うていこうと思った。</p> | <p>●みんなの物や場所を大切に使うている児童の写真を見せ、今後の生活のイメージを広げる。</p> <p>◎児童一人一人が、自分との関わりで、納得解をまとめ、今後の生活につなげていけるようにサポートする。</p> <p>◎書き終えた児童から立ち歩いて意見を交流し合う。</p> |
| | 価値の自覚・意欲化 | |

(3) 本時の評価について

- ・ みんなで使う物や場所の扱い方について、登場人物の心情を想像したり、自分たちの生活を振り返ったりする活動を通して、次に使う人のことを考えて大切に使うていこうとする気持ちをもつことができたか。